

本報告書は、総合科学技術会議が国立教育政策研究所に委託した「第3期科学技術基本計画のフォローアップ「理数教育部分」に係る調査研究」に係る報告書の一部である。

総合科学技術会議の委託の内容は、(1) 理数教育を担当する教員に関する調査・分析と国際比較、(2) 学校教育に係る理数教育の内容に関する調査・分析及び国際比較、(3) 子どもたちの理数関係の学力・興味関心と相関する要因についての調査・分析と国際比較の3点であった。教員に関する調査・分析においては、理数教員の現況についての調査分析や科学館・博物館等の学校教育への支援に係る調査・分析が求められていた。また、理数教育の内容に関する調査・分析としては、教科書に関する国際比較調査等が求められていた。

国立教育政策研究所は、この3項目についてそれぞれ調査研究を実施し、3冊の報告書にまとめた。なお、それぞれの調査方法等については、それぞれの分冊の記述を参照いただきたい。

本報告書は、3分冊のうち、理数教育を担当する教員に関する調査・分析と国際比較に係る報告書である。

なお、本調査研究の全体の事務は、国立教育政策研究所の教育課程研究センターの以下の者が担当した。

本報告書の「小学校・中学校及び高等学校の理科教員等に係る現況」については、国立教育政策研究所と科学技術振興機構の共同調査をベースとしているが、同調査は本センター基礎研究部の小倉康総括研究官が中核となり実施したものである。また、「学校と科学系博物館等との連携による教員支援」の調査研究には同部の鳩貝太郎総括研究官が参画している。

事務局 国立教育政策研究所 教育課程研究センター

研究開発部	部長	梅澤 敦
基礎研究部	総括研究官	田口 重憲
研究開発部	教育課程調査官	宇田 茂
	教育課程調査官	倉田 寛